

## 予 算 要 求 資 料

令和6年度当初予算

支出科目 款：総務費 項：防災費 目：防災総務費

### 事業名【新】消防防災無線設備更新事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

危機管理部 危機管理政策課 防災情報管理係 電話番号：058-272-1111(内2819)

E-mail：c11117@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 7,784 千円 (前年度予算額：0 千円)

#### <財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	7,784	0	0	0	0	0	0	0	7,784
決定額	7,784	0	0	0	0	0	0	5,800	1,984

## 2 要 求 内 容

### (1) 要求の趣旨(現状と課題)

防災対策上必要な情報の収集及び伝達のため、国(国土交通省及び消防庁)と都道府県との間で、消防防災無線により通信回線網を構築している。当該通信回線網は国土交通省の「電気通信技術ビジョン」に基づき、順次IP統合網へ集約・統合し、対災害性の強化が図られており、岐阜県においても国土交通省及び消防庁のIP化に併せてIP化を実施した。(平成27年度)

IP化(機器更新)から約8年が経過し、一部構成機器の保守対象期限の超過に伴い、修理用部品の確保ができず、機器故障時に早急な修理対応に応じることができない状態である。

当設備は、非常時を含み常時正常な運用が求められる設備であり、障害時には、早急な修理が求められるため、機器を更新することで安定的な運用を実現する。

### (2) 事業内容

消防防災無線設備の一部対象機器を更新し、機器更新に伴うネットワーク設定も実施する。(令和4年度に防災情報通信システム構成機器を新県庁舎へ移設した際に、一部機器(L3SW等)は更新済み)

(3) 県負担・補助率の考え方

県10/10 (県の設備であるため)

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
委託料	7,784	消防防災無線設備 機器更新
合計	7,784	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

防災基本計画 第2編 各災害に共通する対策編

第2章 災害応急対策

第2節 発災直後の情報の収集・連絡及び活動体制の確立

1 災害情報の収集・連絡

「都道府県は、市町村等から情報を収集するとともに、自らも必要な被害規模に関する概括的な情報を把握し、特に、市町村が報告を行うことができなくなったときは、被災地への職員派遣、ヘリコプター等の機材や各種通信手段の効果的活用等により、あらゆる手段を尽くして積極的に情報収集を行い、これらの情報を国〔消防庁〕に報告するものとする。また、必要に応じ、関係省庁及び関係地方公共団体に連絡するものとする。」

(2) 国・他県の状況

なし

(3) 後年度の財政負担

国税庁が公表している耐用年数である「10年」を目途に同様の機器更新を予定している。

# 事業評価調査書（県単独補助金除く）

<input checked="" type="checkbox"/> 新規要求事業
<input type="checkbox"/> 継続要求事業

## 1 事業の目標と成果

### （事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか  
 消防防災無線設備を正常稼働させるため、令和6年度に該当機器を更新し、当該設備の安定運用を目指す。

### （目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R4年度 実績	R5年度 目標	R6年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						

### ○指標を設定することができない場合の理由

単年で完了する事業であるため。

### （これまでの取組内容と成果）

令和2年度	<p>・取組内容と成果を記載してください。</p> <hr/> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>
令和3年度	<p>・取組内容と成果を記載してください。</p> <hr/> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>
令和4年度	<p>・取組内容と成果を記載してください。</p> <hr/> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>

## 2 事業の評価と課題

### (事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業の必要性 (社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3 : 増加している 2 : 横ばい 1 : 減少している 0 : ほとんどない</li> </ul>	
(評価) 3	当通信網は国との情報伝達を担う設備であり、災害時などに迅速・的確に情報を伝達し、事案発生時の体制を整えるために極めて重要な役割を果たしている。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業の有効性 (指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3 : 期待以上の成果あり 2 : 期待どおりの成果あり 1 : 期待どおりの成果が得られていない 0 : ほとんど成果が得られていない</li> </ul>	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業の効率性 (事業の実施方法の効率化は図られているか) 2 : 上がっている 1 : 横ばい 0 : 下がっている</li> </ul>	
(評価)	

### (今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 機器の耐用年数 (約10年) を目途に機器更新を検討する必要がある。 機器のEOL (End Of Life) を適宜確認し、必要の場合は更新を行う。</li> </ul>
--

### (次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか</li> </ul>
---

### (他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	【〇〇課】
組み合わせる理由 や期待する効果 など	